

## 不適合情報

2024年8月6日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン建屋地下1階(管理区域)南側通路壁面の配管サポート部に、水の滴下および床面に水溜まり(約9cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。地下水の浸入と推定。当該箇所を点検・修理	2024/07/29	
2	2号機	中央制御室防災盤に、タービン建屋2階(非管理区域)クリーンアクセス通路の火報の発報および排煙機の動作を確認した。ただちに現場を確認し、炎や煙がなかったことから、感知器の経年劣化による誤動作によるものと判断。当該感知器を交換し復旧済み。	2024/08/01	
3	4号機	非常用ガス処理系排ガス放射線モニタ(A)の指示値がゆっくり変動を繰り返しながら下降し、下限警報が発生したことを確認した。その後、通常値に復帰し指示値に変動なし。他の測定器に指示値の変動や、測定に影響を与える作業がなかったことを確認済み。放射線監視テレメータシステムをAからBに切り替え。当該事象の原因を調査。	2024/07/30	
4	4号機	中央制御室防災盤に、原子炉建屋地下5階(管理区域)低圧炉心スプレイ系ポンプ室の感知器異常の警報の発生を確認した。現場に炎や煙のないことを確認済み。調査の結果、感知器の不具合によるものと判断。当該感知器を交換し復旧済み。	2024/08/02	
5	5号機	サーブス建屋3階(非管理区域)換気空調補機常用冷却水系冷凍機・冷水ポンプ室の、物品搬入出用シャッターが閉鎖できなくなったことを確認した。調査の結果、安全装置本体の不具合と判明。当該装置を交換。なお、当該シャッターは閉鎖済み。	2024/07/29	
6	6号機	タービン建屋(管理区域)南側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/08/02	